

【チェロ部門】



マスターコース 12 回生
立川 訓子

静岡県出身。リスト音楽院学士課程を卒業し、2011年7月に帰国。2011年旭川市にて北日本フィルハーモニー管弦楽団とサン＝サーンスのチェロ協奏曲第1番を共演。在学中に日本人留学生で「Ensemble KAMARA」を結成し、2011年には浜松市と名古屋市にて、2013年には浜松市にて室内楽演奏会を開催。リスト音楽院修了生のピアニスト久野絵美氏と「Muzsikus」を結成し、2013・2015年に静岡県湖西市と愛知県武豊町にて「ハンガリーの調べ」を開催。2014年浜松市にてリサイタルを開催。2014年浜松市にて、アンサンブル・ムジーク弦楽合奏団とヴィヴァルディの2つのチェロのための協奏曲ト短調RV.531を共演(第1チェロ：櫻井健氏)現在、浜松フィルハーモニー管弦楽団、アンサンブル・ムジーク弦楽合奏団団員。浜松市を中心に演奏活動をすると共に、後進の指導にあたる。



マスターコース 13 回生
山田 真吾

愛知県出身。岐阜県在住。6歳より才能教育研究会でチェロを始め、岐阜大学工学部卒業後、ハンガリー国立リスト音楽院修了。第14回ブルクハルト国際音楽コンクール弦楽器部門第2位(最高位)第2回東京サミット音楽コンクールグランドファイナル銀賞。第22回ヨーロッパ音楽コンクール弦楽器部門第3位(イタリア)他国内外のコンクールに入賞。ニューヨークサミットミュージックフェスティバル、ハンガリーフェスティバル、ミッドランド音楽祭、kt-planning主催室内楽の愉しみシリーズ等に出演。ブダペスト、香港、東京、名古屋、岐阜でリサイタルを開催。日本演奏連盟主催新進演奏家育成プロジェクトオーケストラシリーズにて円光寺雅彦指揮名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演した他、リ・チェン指揮セントラル愛知交響楽団、ケン・ジェン指揮香港ベルカントオーケストラ等と協奏曲を共演。これまでにチェロを林良一、オンツァイ・チャバ、ケルテス・オットーの各氏に、室内楽をビバリー・ラーズロー、ゲーザ・ハルギタイの各氏に師事。現在ソロ、室内楽奏者として活動する一方、オーケストラの客演首席奏者も務める。